

安全データシート

1. 化学品および会社情報

製品名 ゲルベース(メッシュ) 2インチ4インチ 黒
会社名 (株)エクシールコーポレーション
住所 岐阜県美濃市大矢田277-1
担当部署 開発課
電話番号 0575-33-0872
緊急連絡先 同上
FAX番号 0575-35-1590
整理番号 110003

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類
物理化学的危険性 該当しない
健康に対する有害性 該当しない
環境に対する有害性 該当しない
GHSラベル要素 分類基準に該当しない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物(成形品)

	ケース・トレイ部	ゲル部	アクリル粘着部
成分名(含有量)	ABS(≥60.0%)	ポリウレタン(≥99.5%)	PET(粘着剤基材)(非開示)
	充填剤、着色剤(≥30.0%)	添加剤(<0.5%)	アクリル酸エステル共重合体(非開示)
			シリコーン(非開示)
官報公示整理番号	6-176、6-126	非開示	7-1022(PET)
CAS No.	9003-56-9	非開示	25038-59-9(PET)
	9003-54-7		

4. 応急措置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、眼科医の診断を受けて下さい。

皮膚に付着した場合 影響は無いが、汚染された衣服や靴などの汚れを洗い落とした後、付着又は接触部を石けんで洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。

吸入した場合 空気の新鮮な場所へ移動し、鼻をかみ、うがいをさせる。医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 多量の水を飲ませてから吐き出させる。直ちに医師の手当てを受ける。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

周囲に火がなければ燃焼しないが、着火源があるときは大気中で燃焼する。

消化方法	初期消火(消化器) 火災が広がった場合は大量の噴霧水。燃料源を断つ。 未着火のドラム、設備、建物に放水し延焼、過熱の防止。 保護具着用。不完全燃焼時には有害なガス(一酸化炭素等)を発生するので、風上からまたは空気呼吸器を付けて消火活動する。
消火剤	泡消泡剤、水、ドライケミカル、乾燥砂

6. 漏出時の措置

人体への影響	人体への影響は無いものと考えられる。
環境に対する注意事項	水域へ漏出させないよう注意する。
除去方法	掃除機やほうき等で清掃し破棄方法を参考に破棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	衝撃を避ける。 静電気を起こす場合があるので注意する。
保管	直射日光、高温多湿を避け、換気の良い室内冷暗所

8. 暴露防止措置及び保護措置

管理濃度	設定なし
許容濃度	日本産業衛生学会 設定なし ACGIH 設定なし
設備対策	局所排気装置
保護具	保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、状況に応じ防毒マスクを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状	固体
外観	ゲル部、アクリル糊部 淡黄色透明 ケース、トレイ部 黒色
融点	ゲル部 データなし ケース、トレイ部 130～150℃ アクリル糊部 255～265℃
引火点	ゲル部 200～250℃ ケース、トレイ部 データなし アクリル糊 345～400℃
発火点	ゲル部 350℃ ケース、トレイ部 405℃ アクリル糊 483～508℃
比重	ゲル部 1.04 ケース、トレイ部 1.02～1.20 アクリル糊 1.4
溶解度	水に不溶

10. 安定性及び反応性

可燃性	消防法指定可燃物
発火性	ゲル部、アクリル糊部 該当しない ケース、トレイ部 自然発火なし
自己反応性、爆発性	該当しない
粉じん爆発性	該当しない
安定性	安定

11. 有害性情報

皮膚腐食性	資料なし
刺激性	資料なし
感作性	資料なし
急性毒性	資料なし
亜急性毒性	資料なし
慢性毒性	資料なし
ガン原性	資料なし
変異原性	資料なし
生殖毒性	資料なし
催奇形性	資料なし

12. 環境影響情報

分解性	資料なし
魚毒性	資料なし

13. 廃棄上の注意

廃掃法及び地方自治体の条例に準拠し焼却または埋立てにより廃棄する。
詳細については産業廃棄物処理認定業者に相談して下さい。

14. 輸送上の注意

国連分類 該当しない
運搬に監視艇は破損等がないことを確かめ、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。汚れ、水漏れに注意する。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物
廃棄法	産業廃棄物、廃プラスチック類

16. その他

本データシートは、新しい知見や記載に漏れ等があった場合、内容が変わることがあります。
本データシートは情報提供の為作成された物であり、物性や評価等について保証をするものではありません。
実際の取扱については本データシートを参考の上、用途、用法に適した安全対策をおすすめします。
必要に応じて試験等をした後、取り扱うことをお勧め致します。
本データシートに記載のGHSラベル要素は、実際の製品には表示されない場合があります。